

F1 社 会

(40 分) 答はすべて 解 答 用 紙 に書き入れること。

10

1 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

厚生労働省の発表（平成21年9月11日）によると、平成21年度中に100歳に達する日本人（永住している在日外国人を含む）は、国内外あわせて21,603人となります。平成21年度に100歳に達する人は1909年、あるいは1910年に生まれていますが、その時から現在までの間に、日本の国内および国外ではさまざまな出来事が起こり、日本も大きく変わりました。そこで、1909年の日本の様子を、政治や外国との関係に重点を置きながら、現代の日本と比べてみましょう。

1909年の日本は、1889年に公布された（ 1 ）のもとで、近代国家として発展していました。しかし、議会と内閣、裁判所が分立しているという国のしくみは、形式としては①現在の日本国憲法で定められている国のしくみに似ていましたが、そのなかみは大きく異なるものでした。この時代は（ 2 ）が主権者であり、軍隊を統率していました。議会は（ 3 ）と（ 4 ）の二院制がとられていて、（ 3 ）の②議員は選挙によって選ばれていましたが、（ 4 ）の議員は華族や高額納税者などの特権的な人びとから選ばれていました。議会をはじめ、内閣や裁判所は（ 2 ）のもとに置かれていました。言論や出版の自由などの国民の権利は、新聞や雑誌の発行が1909年に公布された新聞紙法によって管理統制されているなど、定められた法律の範囲内で認められていたにすぎませんでした。このように、1909年当時の日本は、③日本国憲法の三原則とは異なる考え方によって国が治められていました。

外国との関係をみると、国際的な地位が向上していった時代でした。江戸時代末期に欧米諸国との間で結ばれた不平等条約の改正が進められているときで、2年後の④1911年になって不平等条約は完全に改正されました。その後の日本は国際社会での地位を向上させていきます。1914年にヨーロッパで（ 5 ）がはじまると、日本も参戦して戦勝国となり、戦後に結成された国際連盟でも常任理事国となりました。しかし、中国へ進出することによって（ 5 ）の後の不景気から脱出しようという考えが広まり、1930年代には⑤中国と戦争を始め、国際社会の中で孤立し、アメリカなどとの対立が深まり、そして太平洋戦争へと突き進むことになりました。

また、（ 6 ）や⑥日露戦争という2度の戦争で勝利したことによって日本の領土は広がりました。さらに日本は朝鮮半島に対する支配を強めていきました。1909年には初代の韓国統監で、日本の初代内閣総理大臣もつとめた（ 7 ）が暗殺され、翌1910年に韓国は日本に併合され、朝鮮半島は日本の植民地となりました。

太平洋戦争後、朝鮮は日本の植民地支配から解放され、（ 6 ）と日露戦争によって広げられた領土は1951年に結ばれた（ 8 ）平和条約によって放棄されました。一方、⑦連合国軍による占領を終えて独立を回復した後も占領が続いていた奄美諸島、小笠原諸島、（ 9 ）は、後に日本に返還されました。しかし、北方領土については、1991年まで存在した（ 10 ）との間では解決できず、現在のロシアとの間でも問題として残り続けています。

日本の今に至る道のりをたどると、（ 5 ）、大正デモクラシー、不景気の時代、中国との戦争、太平洋戦争といった出来事があり、戦後の占領と独立回復、アメリカの支援を受けながらの急速な復興をへて、現在の経済先進国としての地位が確立されてきたことがわかります。私たちが平和で豊かな生活を営み、よりよい社会を築き、⑧国際社会に貢献していくためにも、過去を振り返り、時代の変化に立ち会ってきた先人たちの歩みを知ることは大切なことです。

問1 文章中の（ 1 ）～（ 10 ）にあてはまる語句または人名、地名を答えなさい。

問2 下線部①について、日本国憲法において国会はどのような地位を有していますか。2つ答えなさい。

問3 下線部②について、次の問いに答えなさい。

（1）大正時代に普通選挙運動が盛んになり、1925年に選挙法改正が実現しました。それによって、どのような人びとに選挙権が与えられましたか。

（2）また、1925年の選挙法改正と同じ年に、政府や社会のしくみを変えようとする運動を取り締まる法律が制定されました。その法律の名前を答えなさい。

F2 社 会

問4 下線部③について、次の問いに答えなさい。

- (1) 日本国憲法の三原則の1つに基本的人権の尊重があります。社会の変化にともなって、基本的人権は、憲法には明記されていなくても、より広く認められるようになっていきます。そのような形で認められるようになってきた権利を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 裁判を受ける権利 イ 環境権 ウ 男女の平等 エ 労働者が団結する権利

- (2) 日本国憲法の三原則の1つに平和主義があります。世界で唯一、戦争による原子爆弾の被害にあった日本では、非核三原則を国の方針として定めました。非核三原則をすべて答えなさい。

問5 下線部④について、1911年に不平等条約の改正に成功したときの日本の外務大臣の名前を漢字で答えなさい。

問6 下線部⑤について、次の問いに答えなさい。

- (1) 中国との戦争の広がりに関係する次のア～オの出来事を、時代の古いものから順に並べて、記号で答えなさい。

ア 国際連盟を脱退する イ 満州事変がおきる ウ ナンキン（南京）を占領する
エ ペキン（北京）郊外で日本・中国両軍が衝突する オ 満州国をつくる

- (2) 中国との戦争が行われていた1939年に、ヨーロッパで第二次世界大戦が始まり、やがて日本もヨーロッパの国と同盟を結ぶことになりました。日本と同盟を結んだ2つの国の名前を答えなさい。

問7 下線部⑥について、次の問いに答えなさい。

- (1) 日本は、この戦争を戦う前の1902年に、アジアにおいてロシアと対立していた国と同盟を結ぶ事に成功しました。その国の名前を答えなさい。

- (2) この戦争で勝利したことによって日本が獲得した領土を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 台湾 イ 千島列島 ウ 樺太（サハリン）の南部 エ カムチャツカ半島

問8 下線部⑦について、日本は、占領下の戦後改革によって軍隊を解散しました。しかし、1950年に警察予備隊が作られ、のちに自衛隊となり、現在に至ります。警察予備隊が作られるきっかけとなった出来事を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア 中東戦争 イ 朝鮮戦争 ウ 湾岸戦争 エ ベトナム戦争

問9 下線部⑧について、次の問いに答えなさい。

- (1) 国際社会への貢献として、日本は様々な形で海外援助活動を行っています。知識や技術を持ち、それをいかしたいという意欲を持った人を、開発途上の国や地域へ派遣する海外援助活動を何と呼びますか。

- (2) 国際赤十字やアムネスティ・インターナショナルなど、平和や人権、環境問題などに積極的に取り組む民間団体をまとめて何と呼びますか。

F3 社 会

2 おもに第二次世界大戦後の、日本の産業や社会の変化について述べた次の文章（１）～（３）を読み、あとの問いに答えなさい。

（１）農業について

- A 第二次世界大戦後の日本の農業は稲作を中心に発展しましたが、①食生活の多様化が進み、しだいに米が余るようになってきたので、政府は1969年から稲の作付面積を減らす**1**政策を進めました。②東北地方や北陸地方でも稲作を休んだり、水田を豆類や麦類などの畑に変えたりする農家が増えました。
- B 日本の食糧自給率は年々低下し、日本は今では世界最大の農産物輸入国になっています。そのような状況の中で、米の自給率は94%（2006年）ですが、主食用だけに限れば100%を維持しています。自給率が90%を超える食料品目は非常に少なく、米のほかには、みかん、さつまいも、（ 1 ）などがあります。③多くの種類の農産物が世界のさまざまな国や地域からいろいろな方法で輸入されているのです。

（２）工業について

- A 日本の近代工業は、明治時代の中頃からさかんになった（ 2 ）工業や（ 3 ）工業などの発達ではじまりました。20世紀に入ると**2**県の八幡に製鉄所が建設され、これをきっかけに鉄鋼業が成長しました。その後、各種の工業がいくつかの地域に集まるようになり四大工業地帯が形成されていきました。
- 第二次世界大戦後には、④関東地方の南部から瀬戸内地方にかけての臨海部に大きな港がつくられ、輸入原料を用いた石油化学工業が発達しました。この地域は**3**と呼ばれ、日本の工業の中心地域になりました。
- B 日本のエネルギー資源の中心は長い間石炭でしたが、1960年代の中頃には石油がその中心になりました。そして1970年代に**4**が起きると原油価格は急激に値上がりし、石油化学工業の成長はにぶり、これにかわって1980年代に入ってから伸びてきたのが（ 4 ）工業や、先端技術産業と呼ばれる、I C、電子・通信機器などの工業、精密機械工業など、最先端の技術を用いた工業でした。このような工業発展の変化にともなって、工場が建設される場所は原料の輸入に便利な臨海部から、広い用地や多くの労働力が得られ、かつ交通の便のよい地方の内陸部へと広がっていきました。
- C さらに1980年代の後半からは、人件費のより安い労働力を求めて海外へ工場を移転し、国内には本社や研究所だけを残す企業も増えてきました。このような動きは、かつては**5**と呼ばれた日本の貿易の形にも変化をもたらし、⑤近年では工業製品の輸入が著しく増加しています。一方で国内の工業生産や労働者をやとう力が減少するという問題が生じ、これは今日の日本が抱える大きな課題のひとつになっています。

（３）人口について

- A 日本の人口は明治時代以降ほぼ順調に増加してきました。とくに第二次世界大戦直後の時期は**6**と呼ばれ、人口は急増しました。その後、経済の高度成長が進む中で、増加した人口は農山村や離島から大都市圏へ大量に移動しました。その結果大都市の中心部では人口が**7**になり、交通渋滞や騒音、大気汚染、ごみ処理などさまざまな都市問題が発生し、居住環境が悪化しました。加えて土地の価格も上昇したので、大都市の中心部から郊外へ、住みよい環境を求めて移住する人びとが増加しました。しかし、1990年代後半から、工場などが移転した跡地の再開発によってマンション建設があいつぎ、大都市中心部の人口が再び増加する動きもみられるようになりました。
- B 第二次世界大戦後、進学や就職のために、農村から都市部へ多くの若い世代の人びとが流出しました。その結果、農村では人口が減少したうえに、65歳以上の人口の割合が上昇し、産業がふるわなくなったり、学校や商店、病院がなくなったり、バスや鉄道などの交通が廃止されたりして、地域社会を保つことがむずかしくなったところが増えてきています。こうした現象を**8**といいます。

F4 社 会

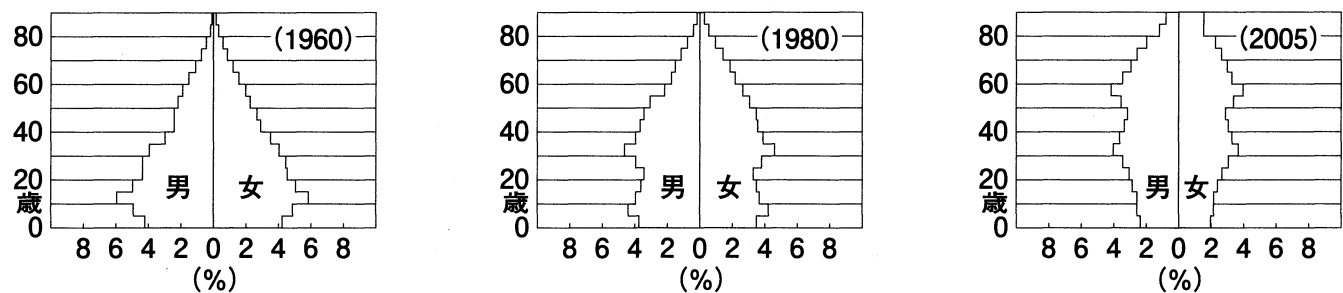
C 1人の女性が一生の間に生む子供の数の平均を表す数値は、時代とともに変化してきました。次の表は、戦後の日本におけるその数値の移り変わりを示したものです。

年	1950	1955	1960	1965	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005
数値	3.65	2.37	2.00	2.14	2.13	1.91	1.75	1.76	1.54	1.42	1.36	1.26

(数字で見る日本の100年(改訂第5版)による)

また、図1は、1960年、1980年、2005年の日本における、5歳^{ねんれいそう}ずつの年齢層ごとの男女別人口構成を表したものです。図2は、65歳以上の人口の割合が、その国の総人口の10%に達してから20%に達するまでの年数を、世界のいくつかの国について示したものです。これらの表や図から判断して、近年日本では「9」と「10」が同時に進んでおり、特に「10」のスピードが他の国よりも非常に早いことがよくわかります。⑥日本のこのような状況がこのまま進むと、国として「 」などのこまった問題が生じてくることが心配されています。

図1 年齢層ごとの男女別人口構成(85歳以上の人口はまとめてあります)



(数字で見る日本の100年(改訂第5版)による)

問1 文章中の「1」～「10」にあてはまる語句を答えなさい。

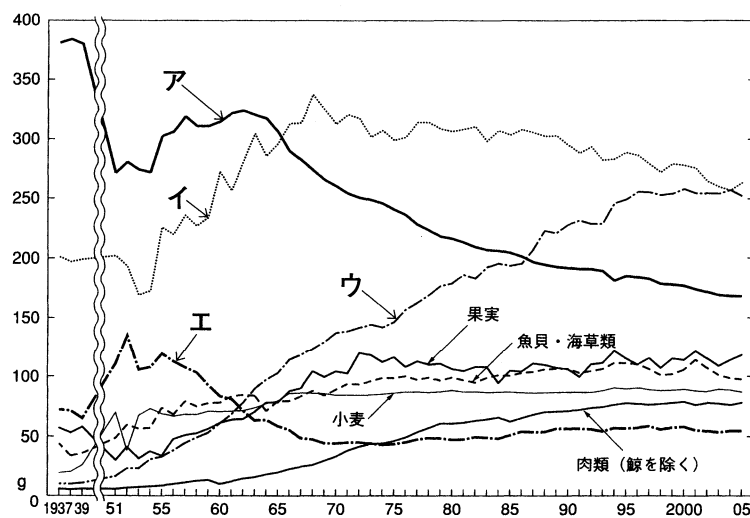
問2 文章中の(1)～(4)にあてはまる食品品目または工業の種類を下から1つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア 大豆 イ 小麦 ウ 牛肉 エ 鶏卵(にわとりの卵)
オ 化学せんい カ 製糸 キ 麻織物 ク 綿織物 ケ 造船
コ セメント サ 自動車 シ 航空機

問3 文章中の下線部①～⑥について、それぞれの問いに答えなさい。

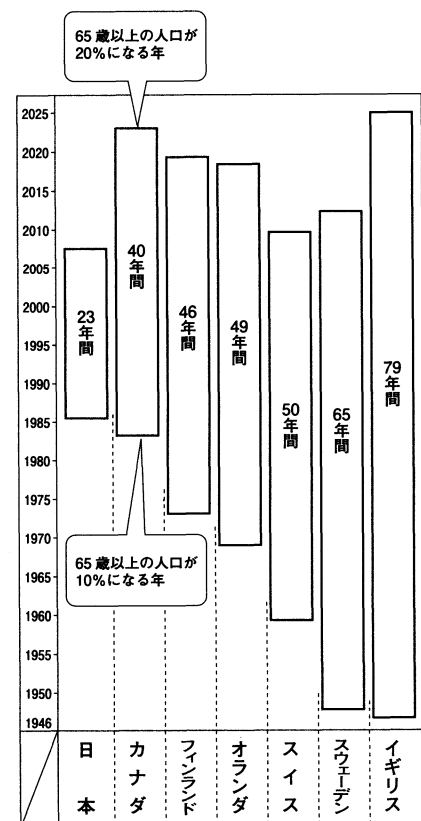
① 図3は、戦後の日本の食生活の変化を表しています。図中のア～エは、米、いも類、野菜、牛乳・乳製品のいずれかを示しています。牛乳・乳製品にあたるものを選び、記号で答えなさい。

図3 食生活の変化(1人1日あたりの食料, g)



(数字で見る日本の100年(改訂第5版)による)

図2 65歳以上の人口が10%から20%になるまでの年数の比較(推定値を含む)



(地理資料(東京法令)による)

F5 社 会

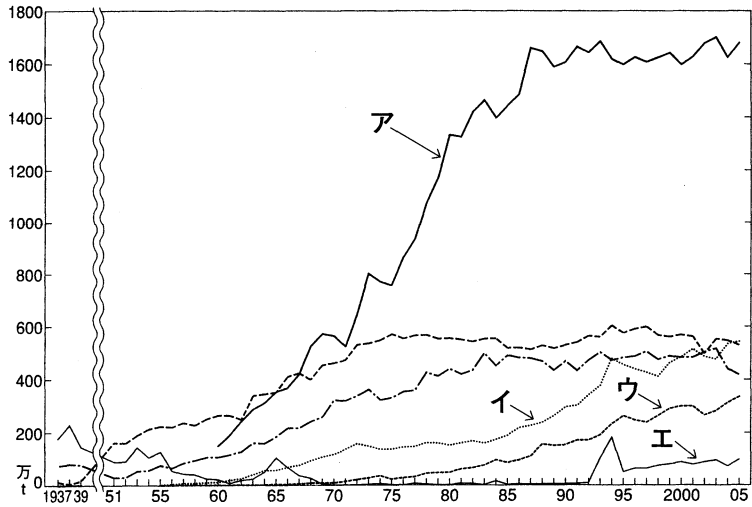
② 次の表は、地域別の農業産出額の割合（2007年，％）を表したものです。表中のア～オは、東北、関東・東山、北陸、中国、九州・沖縄のいずれかの地方を示しています。ただし、東山は山梨、長野の両県、北陸は新潟、富山、石川、福井の4県を指します。北陸地方にあてはまるものを選び、記号で答えなさい。

地方	米	野菜	ちくさん 畜産	その他
ア	61.5	12.4	16.3	9.8
イ	35.0	17.8	28.0	19.2
ウ	29.9	18.0	33.9	18.2
エ	17.9	36.8	24.7	20.6
オ	11.8	22.5	40.4	25.3

（日本国勢図会（2009/10）による）

③ 図4は、戦後の日本の農産物の輸入量の変化を表しています。図中のア～エは、米、とうもろこし、野菜、果実のいずれかを示しています。アにあたる農産物を答えなさい。

図4 農産物の輸入量の変化（万t）



（数字で見る日本の100年（改訂第5版）による）

④ 次のア～キの海域の中には、④にあてはまらないものが1つあります。その海域を記号で答えなさい。

ア 周防灘 イ 別府湾 ウ 大阪湾 エ 若狭湾 オ 伊勢湾 カ 東京湾 キ 鹿島灘

⑤ 次の表は、いくつかの家電製品に関する日本の輸入台数（万台）と輸入相手国の割合（％）を表しています（ともに2008年）。表中の国Xはすべての製品において同一の国です。その国名を答えなさい。

製品	液晶テレビ	DVD・ビデオ	デジタルカメラ	エアコン	電気冷蔵庫	電気洗濯機
輸入台数	261	1213	1229	501	290	315
1位の国	X 76.0	X 85.4	X 72.8	X 88.7	X 61.1	X 72.0
2位の国	Y 8.5	Y 7.7	Y 6.5	Z 10.4	Z 37.1	Z 27.5
その他	15.5	6.9	20.7	0.9	1.8	0.5

（日本国勢図会（2009/10）による）

⑥ 次のア～エの中から、下線部の〔 〕にあてはまらないものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 乳幼児の死亡率が上昇する
イ 労働力人口が減少する
ウ 介護・医療などのサービスが低下する
エ 年金制度が揺らぐ